

成長開発委員会編「世界銀行、経済成長レポート

—すべての人々に恩恵のある開発と持続的発展のために—

2009年4月22日刊を読む

1. グローバル経済をフルに活用した。
 - (1) 開放性
 - (2) 知識の輸入
 - (3) 世界需要の活用
2. マクロ経済の安定性を維持した。
 - (1) マクロ経済の安定性
 - (2) 若干のインフレ
 - (3) 持続可能な公的財政
3. 高比率の貯蓄・投資を達成した。
 - (1) 将来指向
 - (2) 高投資
 - (3) 高貯蓄
4. 資源の配分を市場に委ねた。
 - (1) 市場による配分
 - (2) 価格の資源の指針
 - (3) 資源は価格にしたがう
5. コミットした信頼できる有能な政府があった。
 - (1) リーダーシップと統治
 - (2) 成長に関して信頼できるコミット
 - (3) 包容性に関して信頼できるコミット
 - (4) 有能な政権

[コメント]

国際連合の一部である世界銀行は、貧困の撲滅を目的とする国際金融機関。これは、第2次世界大戦後に持続的な高成長を記録した13の国に共通する特徴。世界の開発途上国がベストプラクティスとして学ぶべき、また目指すべき内容として世界銀行がまとめたもの。その13カ国とは、ボツワナ、ブラジル、中国、香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、マルタ、オマーン、シンガポール、台湾、タイ。

- 2009年5月19日林明夫記 -